

## 11番 吉岡 鳴人 議員

## 1 鹿屋市交流センター「湯遊ランドあいら」について

- (1) 施設の機能と役割について、現状と課題及び評価について示されたい。
- (2) 指定管理者の経営管理状況はコロナ禍の中、一層厳しさを増している。経営の柱でもある浴場施設の大規模改修工事を含め、SDGsの観点から、環境にやさしい熱源の確保など具体的な施設整備の改革に、抜本的かつ効果的に取り組む必要があると思うが、今後の方向性について示されたい。
- (3) 魅せる鹿屋市づくりにつながる、力強い交流施設の確立と拡大を図るため、近隣の始良川で国土交通省が実施している「かわまちづくり事業」と連携し、「もの」から「こと」の消費へつなげていくような仕組みづくりについて、どのように考えているか。
- (4) 人口減少や社会の多様性が進んできているが、交流拠点施設として、どのような戦略をもって今後運営してくのか示されたい。  
また、市民の声に耳を傾け、市民参加型で今後の施設の在り方や戦略を検討する審議会を設置する考えはないか。

## 2 農業政策について

- (1) スマート農業について
  - ① 「かのや型スマート農業研究会」の進捗状況と実績、その成果を示されたい。  
また、今年度、導入事業の予算執行率とその件数、そして、これまでどのような問合せや相談、応募があったか示されたい。
  - ② 超省力化及び高品質生産の技術導入の実装可能性を明らかにするため、スマート農業の技術実証の一層の拡大に向けた取組と、国や県の事業で導入された設備や機器の導入方針について示されたい。
  - ③ 生産者が導入するに当たって、導入コストの高さから、将来的な費用対効果の見通しが立ちにくいという課題があげられる。そこで、レンタルやリース方式で、JAなどが所有して、そこから貸し出すスタイルなどは取れないか。  
また、他産地とリレーするといったことも考えられると思うが、見解を示されたい。

11番 吉岡 鳴人 議員

(2) 畜産振興について

- ① 畜産の生産を後押しする各種補助事業は、生産基盤の維持とともに地域生産体制の強化につながっている。そこで、事業実施主体候補者の公募方法及び事業推進、そして、円滑な支援体制について、どのように取り組んでいるのか示されたい。
- ② 鹿屋市畜産環境センターの用途廃止に伴う各養豚農家の個別処理の進め方について、進捗状況と課題について示されたい。

(3) 令和4年度に国が制度改正を目指している新規就農者育成総合対策の新規就農支援事業について、事業概要を示されたい。

また、職業としての農業の魅力を伝えるための情報発信を、どのように強化するか見解を示されたい。